

「四里四方」

～トマトに愛着をもつ栽培活動～

川崎市立南原小学校
3年生(41名)
及川先生・山田先生

活動のねらい

- ・3年生の社会科と関連付けて、地域の農家の方に栽培の工夫を教わり、栽培する上での想いを知り、トマト栽培に意欲をもち、愛情を込めて育てる。
- ・総合的な学習の時間に、収穫したトマトをどのように活かすかについて話し合い、本校オリジナル菓子の開発と販売を行う。また栽培から販売までの過程を整理し、トマトの良さ(栄養価)などと共に、自分たちの学校の商品として保護者・地域に誇りをもって発表をする。



活動の概要と流れ

- 4 月
- ・畑の土づくりをするとともに、川崎市で有名な農家の方の栽培方法を調べる。
 - ・トマトを収穫したらどうしたいかのイメージづくりをする。
 - ・地域の農家さんに取材のアポイントメントをとる。



- 5 月
- ・苗の植え付けをする。
 - ・農家の方に栽培方法についての取材をする。

- 6 月
- ・トマトを大きくおいしくするための秘訣を参考に、栽培と観察を繰り返す。

- 7 月
- ・収穫したトマトの活用方法を検討する。

トマトを焼いて粉チーズとおおさをまぶして食べた。



トマトが大嫌いな私でも簡単に食べれた。

めっちゃくちゃ美味しかった。

- 8 月
- ・収穫したトマトの一部は持ち帰り、家庭で調理した結果について報告し合う。(スライドづくり)

- 9 月
- ・地域の洋菓子店にトマトを活用したお菓子の開発協力を依頼する。
 - ・洋菓子店と相談の上、トマトシフォンケーキ・トマトゼリー・トマトクッキーの商品開発をする。
 - ・学校のバザーでの販売に向けて、トマトの良さ(栄養価)や栽培方法などを整理して発表したり、ポスターなどの宣伝物を作成したりする。
 - ・トマトオリジナルキャラクターシールなども作成した。
 - ・地域や保護者・校内児童に購入してもらうことにより、トマトの良さを広げることができた。(開発したレシピは、学校のオリジナル商品として引き続き洋菓子店で注文できるようになり、南原ブランドの1つとなった)



調理(実習)メニュー

トマトを活用したお菓子の商品化

- ・トマトシフォンケーキ
- ・トマトクッキー
- ・トマトゼリー

家庭での調理の情報交換

実施内容詳細

半年にわたって、子どもたちが愛情を込めてトマト栽培を行った結果、オリジナルトマトクッキー・オリジナルシフォンケーキ・オリジナルトマトゼリーの開発により南原小学校ブランドを創出し、広く地域や保護者とつながることができた。

また、宣伝活動からトマトの良さ(栄養価など)を認識し、植育から食育につなげることができた。トマト栽培をきっかけに、自分たちができることや可能性を自覚することができた。また、商品化により子どもたちの誇りとなったように感じた。



取り組みの工夫と実践の成果

半年にわたって、子どもたちが愛情を込めてトマト栽培を行った結果、オリジナルトマトクッキー・オリジナルシフォンケーキ・オリジナルトマトゼリーの開発により南原小学校ブランドを創出し、広く地域や保護者とつながることができた。

また、宣伝活動からトマトの良さ(栄養価)などを認識し植育から食育につなげることができた。

感じたこと

トマト栽培をきっかけに、自分たちができることや可能性を自覚することができ、また、商品化により子どもたちの誇りとなったように感じる。

ご意見ご感想

たくさんの苗を無料でいただけるのは大変ありがたかった。
付随した特別なプログラムをいくつもしていただけたことも大変幸せでした。
本当にありがとうございました。

受賞理由

社会科と関連付けた一連の取り組みが光る活動です。栽培のプロである農家の方に話を聞くことで子どもたちの意欲を高めたり、地元の洋菓子店の協力を得て収穫したトマトを使った南原小ブランドのお菓子を開発し、それを学校のバザーで販売するなど、活動の拡がりの多様さが素晴らしいです。また、活動レポートの随所から、子どもたちと先生方が一緒になって楽しんでいる様子が伝わってきました。